

四万十町 議会だより

NO.75

2025年5月10日発行
高知県四万十町議会

(紹介記事はP.24)



3月定例会(会期3月5日～3月13日《9日間》)

P.2～P.3

補正予算質疑

P.4～P.5

当初予算質疑

P.8～P.9

新しい議会組織

P.10～P.19

一般質問 人口減少対策など…9人が質す

P.23

キャッチボール(観光交流拠点施設整備事業について)

P.24

ありやどうなっちゅうぜよ(「四万十川方式」の今後について)



補正予算質疑

新型コロナウイルスの定期接種委託料1260万円減額

Q 診療所などでも患者が多い状況にある。この1260万円の減額の内訳を示せ。

A 令和5年度の予防接種者の人数で予算を計上していたが、今回3月まで予防接種見込み人数が大きく下回るためこの金額の減額となった。

Q 令和5年度の予防接種者の人数で予算を計上していたが、今回3月まで予防接種見込み人数が大きく下回るためこの金額の減額となった。

A 令和5年度の予防接種者の人数で予算を計上していたが、今回3月まで予防接種見込み人数が大きく下回るためこの金額の減額となった。

Q 令和5年度の予防接種者の人数で予算を計上していたが、今回3月まで予防接種見込み人数が大きく下回るためこの金額の減額となった。

A 令和5年度の予防接種者の人数で予算を計上していたが、今回3月まで予防接種見込み人数が大きく下回るためこの金額の減額となった。

Q 減額の理由を示せ。

A 当初2億円余りの予算を組んでいたが、今回高知県から配額の算定を基に減額をしたもので、制度が開始された当時から予定していた額と同等の金額配分を受けていると認識している。

A 当初210万円の予算を計上していたが、今年度の申請者数が32名であり、当初予定していた人数の約半分弱となり、事業費全体を精査し今回の減額になった。

Q 減額理由を示せ。

A 当初2億円余りの予算を組んでいたが、今回高知県から配額の算定を基に減額をしたもので、制度が開始された当時から予定していた額と同等の金額配分を受けていると認識している。



家地川桜まつり

ふるさと支援寄附金約2億5000万円減額

Q 2億5000万円減額の理由と9月

補正予算でECサイト等の強化でもかなりの金額を投入していたがその効果を示せ。

A 当初12億円の予定で予算を計上して

いたが、年度当初から災害被災地あてに寄付金が流れ、競争が激化している状況。10月以降については前年対比1.2倍と順調に進んでいるが、9月までの減少幅が大きく2億5000万円の減額補正とした。

松葉川地区基幹集落センター新築工事費945万円減額

Q 945万円の減額理由を示せ。

A 松葉川地区基幹集落センター新築工事

費945万円減額の主な理由は入札減によるもの。

中間管理住宅改修工事費6000万円減額

Q 中間管理住宅改修工事費6000万円減額の内訳を示せ。

A 中間管理住宅の工事費は当初の目標は10棟だったが、各市町村でも中間管理住宅整備が進んでいるため、県費の配分が6棟分となったもの。

当初予算質疑

令和7年度一般会計当初
予算は191億7900
万円（ふるさと納税関連
予算計18億6100万円
を含む）に前年度比3億
7000万円1.9%の減額
となる

婚活支援事業委託料64
9万円

Q 婚活支援事業はナ
イーブな側面があ
るが、行政として今後ど
のように支援していくの
か。

A 前提となるのは婚
姻数を増やし出生
数に繋げていく考えで、
公共事業の範囲で進めて
いる。

町では出会い応援セン

ター「てとてと」を設け
会員登録をし、連絡方法
などについて予め了承を
とった中で事業を進めて
いる。

健康づくり婦人会補助金
27万円

食生活改善推進協議会補
助金33万円

Q いずれも事業を担
っている人が高齢
となり、若い世代が入会
しない中で、補助金も少
額事業となっているが、
活動を精査をする時期で
はないか。

A 後継者を育てるこ
とが急務となってい
る。二つの団体とも全
国組織を持ち、町以外に

県からの補助金は別立て
になっており、窪川・大
正・十和それぞれの団体
で申請をして多方面で事
業を行っており、重要な
役割を担っている。

妊婦のための支援給付金
501万円

Q 予算化した金額根
拠と給付事業内容
を示せ。

A 過去の実績から50
人を見込んで予算
化した。

妊婦に5万円、胎児一
人につき5万円を支給す
るもので、双子であった
場合10万円支給し、妊婦
の身体的、精神的ケアと
経済的支援を行うもの。

空き家財道具等処分事
業60万円

町の公式ホームページ上
の「空き家情報」に掲載
し、所有者に対し荷物整
理、運搬及び処分に関す
る費用に補助金を交付す
るもの

Q ホームページに掲
載するにしても、
所有者が閲覧するのは難
しいと考えるが、アプロ
ーチ方法はどのように考
えているか。

A 町内あてについて
は、回覧、広報、
ホームページで周知を図
り、町外についてもホー
ムページの他、固定資産
税の課税通知に併せて周
知するなど、所管課と協
議していく。

電源立地地域対策交付金
647万円



家地川堰堤



Q 交付金の地区別割り振りと配分先を示せ。

A 交付金は四万十町あてとされており、地区別割り振り交付はない。

今年度の充当先は、昨年度に引き続き保育士の人件費に充てることになっている。

立木売却収入4132万円

Q 売却収入の内訳と作業搬出場所を示せ。

A 間伐事業により主に窪川地域1カ所、大正地域2カ所で合計52haの搬出間伐材、作業道5000m開設による支障木3500m程度を搬出する

ことによる収入金として

有害鳥獣被害対策事業補助金3596万円

Q 使用目的を示せ。

A イノシシや鹿、猿、カラス、ハクビシン、野ウサギ等の対策として、3万9000m余りの金網などの侵入防止柵の設置補助をするもの。

園芸用ハウス等リノベーション事業に908万円

既存ハウスの高度化による生産基盤の強化と、環境制御装置の導入を図り生産者の経営安定と産地の維持発展を目指すもの

Q 本体の補強、資材の高度化とあるが

事業概要を示せ。

A 本体補強とあるのは被覆資材を替えて災害等の対策を行うもので、環境制御装置についてはハウス内で二酸化炭素の量、温度、生育状況を向上させるために導入するもの。

屋根防水改修工事費2915万円

Q 屋根防水改修とは、どの施設か、工事内容を示せ。

A 施設はコンベンションホール「きらら大正」で建設から30年が経過し雨漏りが数カ所から発生している。工事は別構造に替えるものではなく既存屋根を改修するもの。

投石魚礁造成効果調査委託料24万円

投石魚礁設置工事測量設計委託料49万円

Q 投石魚礁は継続事業と思われるが令和7年度の事業内容を示せ。

A 令和5年度から志和地区において実施している事業で、今年度は興津地区に設置をするため測量設計を行う。

造成効果調査については志和地区に設置後の藻場の造成状況等を潜水して調査を行うもの。

体験型ツアー事業委託料423万円

Q 体験ツアーの事業内容を示せ。

A 移住ツアーとして移住の検討者、ファミリー層、若年層を対象に20名程度を年2回招いての移住体験事業で、1回あたりの事業費を約200万円として計上している。



コンベンションホールきらら大正



議案審議

四万十町家地川地域活性化拠点施設に係る指定管理者の指定について

Q 地域の活性化拠点としての地域の盛り上がり、携わる方たちのやる気についてはどう感じているか。

A 否定的な意見はないが、どうしても特定の方に負担がかかる傾向はある。みんなで協力して取り組んでいくように指導はしているが、引き続き町としてもバックアップしながら続けていきたい。

Q 予定から1年遅れで2階部分も運営することとなり、ノウハ

ウの構築期間の意味合いもあったと思うが、この1年間で赤字になった際の対応についても十分話し合いはできたのか。

A 現在の宿泊数、経費の配分で計算すると少しプラスになる収支の計画とはなっているが、物価上昇が続くようであれば宿泊料金を上げざるを得ない状況になる。赤字になっても、即補填する考えはなく、そこは指定管理者も十分理解している。

Q 閑散期について計画は持っているのか。



集落活動センターけやき

A 具体的にはまだないが、大学生の受け入れ実績があることから、そこも参考にしながら計画を立ててもらいたい。

Q 指定管理先の人員的な受け入れ体制は整っているのか。

A 2年間の取り組みの中で、それぞれの役割分担自体は整備できたため、急激に宿泊客が伸びるということでもない限り対応できる体制にある。

教育民生常任委員会に付託され審議

第3期四万十町子ども子育て支援事業計画

Q 子育てに関する施策において、一時預かり保育、乳児等通園支援事業、低年齢児保育、障害児保育は、重層的な要素を持つ事業であることから、事業展開にあたり、生涯学習課、健康福祉課との連携した支援体制を確立すべきでは。

A 関係課との連携はもちろんのこと、民生児童委員、社会福祉協議会等と広く情報共有して抜かりのないようにする。

Q 事業計画の策定にあたり、就学前児童及び小学1年生から6年生の保護者を対象にアンケート調査を行っているが、「最も望んでいるが、「最も望んでいる子育て支援策は」の問いについて「病児・病後児童保育施設の利用希望」の回答が5年前の調査同様に多い。受け入れ可能な病院がない本町において、補完できる体制を模索すべきでは。

A 本事業は現在実施していないが、ニーズ調査では利用の希望があることから、今後の対応方法などを検討して

いく。

Q 今期から始める新事業のうち、「子育て世帯訪問支援事業」「乳児等通園支援事業（子ども誰でも通園制度）」について、いずれの事業ともに人材確保の体制ができていますか。

A 訪問支援は保健師が対応する事柄を除く、家事、育児支援などについて支援していくため、会計年度任用職員などで確保を進める。「子ども誰でも通園制度」は窪川・大正・十和地区の保育所または、子育て支援センターで受け入れ体制を整えていく予定。

指定管理

和12年3月31日まで5年
間

四万十町家地川地域活性化拠点施設に係る指定管理者の指定について

家地川地域活性化拠点施設は、平成23年に閉校となった旧家地川小学校を活用して、地域住民と都市住民との交流を促進し、持続的な地域発展に寄与することを目的に設置したもの

名称 家地川地域活性化拠点施設

所在地 四万十町家地川689番地3

指定管理者

四万十町家地川689番地3

四万十オルモ組合

会長 榎野 章

指定期間

令和7年4月1日から令

和12年3月31日まで5年
間

四万十町ホビー館に係る指定管理者の指定について

四万十町ホビー館は、自然豊かな地域資源を活用し、交流人口の促進による地域の活性化を図り、新たな本町の観光拠点として、地域住民と連携したまちづくりを推進することを目的に平成23年4月に設置したもの

名称 四万十町ホビー館

所在地 四万十町打井川1458番地1

指定管理者

四万十町下呉地字下影野157番3号

株式会社奇想天外

代表取締役 宮脇 修一

指定期間

令和7年4月1日から令

四万十町打井川地域づくりセンターに係る指定について

四万十町打井川地域づくりセンターは、都市住民との交流、農林業の振興、地域住民の交流促進等による地域活性化を図ることを目的に平成23年4月に設置したもの

名称 四万十町打井川地域づくりセンター

所在地 四万十町打井川1467番地1

指定管理者

四万十町打井川地区会

会長 佐々木 通

指定期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで5年



四万十町ホビー館

発委(条例改正)

四万十町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例について

発委第1号

令和7年3月13日

四万十町議会議長

緒方 正綱 様

提出者 四万十町議会

議会運営委員会

委員長 味元 和義

四万十町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例について

提出案の内容

情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び

効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律により、引用する条に条項ずれが生じること等に伴い、所要の改正を行うもの。
また、懲役及び禁錮を廃止して拘禁刑を創設する刑法等の一部を改正する法律が、令和7年6月1日から施行されること等に伴い、条例中に「懲役」の字句が含まれており、改正法の施行日までに、これらを「拘禁刑」に改める等の改正を行う必要があるため、所要の整備をしようとするもの。
以上の提案を受けて、「質疑、討論」はなく「賛成者起立」による採決の結果、「起立全員」により可決された。
(別紙賛否表のとおり)

議長・副議長
あいさつ



議長 緒方 正綱



副議長 下元 真之

この度、議会組織の改選で議長に緒方正綱、副議長に下元真之が選出され、2年間務めることとなりました。

四万十町議会は住民の皆様暮らしと福祉の向上、生活環境の整備が今以上に改善されていくよう務めてまいります。

現在、本町が抱える最重要課題は、何とて人口減少問題であります。人口減少、人口流出のスピードをいかに鈍化できるのか、濱田知事が掲げる「賢い縮小」に四万十町議会としても町執行部と議論をしていかなければなりません。子ども達の声があちこちで聞こえてくる町づくり、四万十町に住んでよかったと思ってもらえる町づくりが求められています。

住民の皆様声を行政に反映させていくために、地域の聞き取り調査や各常任委員会の活動をこれまで以上に活発化させていきたいと思っています。住民の皆様声を行政が

形として示していけるように、また、優しい住民サービスが届けられるように議会としてしっかりと目を配ってまいります。

2年後には四万十町議会の議員定数が14人となることが決定しました。2年後を見据えた議会組織の在り方を議会として議論を重ねながら方向性を決定していきたいと考えております。

住民目線の議会、住民のための議会を目指して残された任期を議員一同頑張つてまいります。

※委員会改革として
2年後の議員定数2減・14人に向けて、委員会改革に取り組んでいます。
今後の後半2年間は、各議員が2つの常任委員会に所属します。

四万十町議会組織一覧

任期:令和5年2月11日～令和9年2月10日

令和7年1月29日～

議長	緒方 正綱	副議長	下元 真之
----	-------	-----	-------

令和7年2月17日～

	委員長	副委員長	委員
総務常任委員会	村井 眞菜	堀本 伸一	佐竹 将典 水間 淳一 橋本 章央 田邊 味元 緒方 正綱 哲夫 和義 正綱
教育民生常任委員会	中屋 康	中野 正延	林 健三 下元 眞一 堀本 伸一 田邊 味元 橋本 章央 哲夫 和義 章央
産業建設常任委員会	山本 大輔	伴ノ内 珠喜	武田 秀義 水間 淳一 緒方 正綱 林 健三 味元 和義 和義
広報広聴常任委員会	武田 秀義	中野 正延	山本 大輔 佐竹 将典 中屋 眞菜 伴ノ内 珠喜 下元 眞之 眞之

令和7年2月17日～

	委員長	副委員長	委員
議会運営委員会	味元 和義	堀本 伸一	武田 秀義 村井 眞菜 中屋 康 山本 大輔 伴ノ内 珠喜

令和7年2月17日～

	委員	備考
四万十町都市計画審議会委員	武田 秀義 山本 大輔	2年



総務常任委員会

◆所管事務

企画課・総務課・税務課・危機管理課・
会計管理者・選挙管理委員会・固定資
産評価審査委員会・監査委員・他の常
任委員会の所管に属さない事項に関す
る事務

委員長 村井 眞菜
副委員長 堀本 伸一
委員 佐竹 将典 田邊 哲夫
水間 淳一 味元 和義
橋本 章央 緒方 正綱



教育民生常任委員会

◆所管事務

教育委員会・町民課・健康福祉課・高
齢者支援課に関する事務

委員長 中屋 康
副委員長 中野 正延
委員 林 健三 田邊 哲夫
下元 真之 橋本 章央
堀本 伸一



産業建設常任委員会

◆所管事務

農林水産課・にぎわい創出課・農業委
員会・建設課・環境水道課に関する事
務

委員長 山本 大輔
副委員長 伴ノ内珠喜
委員 武田 秀義 林 健三
水間 淳一 味元 和義
緒方 正綱



広報広聴常任委員会

◆所管事務

議会広報誌の編集発行に関する事項・
議会のホームページ、議会報告会・意
見交換会の企画運営に関する事項・そ
の他、議会の広報及び広聴に関する事
項

委員長 武田 秀義
副委員長 中野 正延
委員 山本 大輔 村井 眞菜
佐竹 将典 伴ノ内珠喜
中屋 康 下元 真之

一般質問 執行部を質す



中屋 康 議員……………P.11

- 水道施設の更新時期は
- 危険度の高い土砂堆積箇所への対応は



山本 大輔 議員……………P.12

- どう活かしていく（森林環境譲与税）
- 安全対策は万全か（老朽化対策）



村井 眞菜 議員……………P.13

- 設置・管理に関する条例制定は（再生可能エネルギー）
- 支援と対策は（移動困窮者対策）



下元 真之 議員……………P.14

- 人口の推移と出生数のペースは
- 「縮む」現実への取り組みと方向性は



佐竹 将典 議員……………P.15

- 全国平均を大きく下回っているが改善されるか（学力調査）
- この結果を見て改善できるのか（4技能検定）



水間 淳一 議員……………P.16

- どう活かしていくか（観光交流拠点施設）
- 人口減少をどう捉えているか



橋本 章央 議員……………P.17

- 生徒数の確保は（高校存続）
- 中小・小規模事業者の現状は



中野 正延 議員……………P.18

- 南海トラフ地震対策は
- 学校環境の整備について



伴ノ内 珠喜 議員……………P.19

- 完全給食が望ましいのではないかと（保育支援）
- 現状と課題は（空き家対策）

一般質問は議員自身の考え方をもとに、持ち時間一人60分の制限時間の中で、町長や教育長の方針・考え方を問うもの。3月議会では9人の議員が質問。議会だよりでは質問と答弁を要約し掲載する。



中屋 康 議員

水道施設の更新時期は 令和9年度から開始する／環境水道課長

中屋 管路の法定耐用年数は40年とされている。大正地域の旧田野々地区では70年を超えているが、

戸田環境水道課長 本町では旧簡易水道が32施設あることや、他市町村と比べ面積の広さ、家屋が点在していることが要因となり、配水管路の耐震化率は18.9%と低い状況にある。

中屋 本町における配水管路の耐震化状況を示せ。



水道管工事

更新を開始し、工事期間は施設と配水管路工事を合わせ20年、総事業費約40億円を見込んでいる。

戸田環境水道課長 本町の事業経営戦略において、更新計画と財政計画の収益均衡を図る上から、実耐用年数を60年に設定して順次更新していく計画としている。

現況での更新計画を示せ。

下元建設課長 河川の土砂撤去は基本的には地元要望により実施し、令和6年度は7件の土砂撤去

味元危機管理課長 土砂災害の警戒区域、特別警戒区域を防災マップに示し、多数の危険箇所があるが箇所点検は行っていない。区長会や自主防災組織を通じて危険箇所があれば連絡を受け安全対策を講じている。

中屋 近年、降雨量は尋常でなくなってきた。土砂災害危険箇所の点検状態を聞く。

土砂災害

危険度の高い土砂堆積箇所への
対応は

早期に土砂撤去の対策を講じる

／大正地域振興局長

を行った。

中屋 大正地域内で、山側から大量の土砂が谷間に堆積し、下方にある人家への危険度が増している箇所がある。

北村大正地域振興局長 連絡を受け、土嚢で現在は緊急措置を講じている。現場が急峻狭隘であり、重機の入れ方等を検討し、雨季を迎える前までに工事に着手したい。



谷川の堆積土砂

森林環境譲与税

どう活かしていくか
これまでの取り組みに加えて
様々な視点で展開していく

山本 大輔 議員

山本 本町にとってこの制度は、「林業を守る、携わる人を守る、新たな雇用の創出にもつながる」ための有効な手段となると考えるが、これまでの使途について問う。

佐竹農林水産課長 林業、木材産業などの推進、人材育成等の事業を実施し

ており、その割合は、間伐や作業道開設などの森林整備に約41%、製材工場整備支援などに約23%、木材流通や製品販売活動支援などに約5%、各種研修・事業体育成・人材雇用などに約11%、各種事務費等に3%の事業実績がある。

山本 令和6年度から環境税も課税されることとなり、これまで以上の積極的な取り組みを期待するが、これまでの取り組みと合わせて、今後どう活かしていく予定か。

／農林水産課長

佐竹農林水産課長 林業、木材産業の推進、未整備森林の解消、事業体雇用や人材育成など、これまでの取り組みはもちろん、住民が広く恩恵を受けられるような施策も必要となり、様々な視点をもつて引き続き事業の展開を図っていく。

その他の質問

- 部活動の地域移行の進捗について
- 指定管理料について

橋梁老朽化対策

安全対策は万全か
県と連携して安全対策に努める

／十和地域振興局長

山本 4月以降、十和地域唯一となる学校への通学路であり、また、学校奥へとつながる集落の主要な橋であるが、架け替えに至った経緯、工期、代替ルートについて問う。

富田十和地域振興局長

も狭く、工事に伴い大型車の通行も予想されるが、朝晩の通行量の多い時間帯や周辺住民の方の安全面の対策はできているのか。

富田十和地域振興局長

既設の十川橋は約90年前に整備され、令和2年度に修繕整備はしたものの損傷が著しく今回架け替え工事となった。完成は令和10年度となり、計4年間を予定している。代替ルートは歩行者用の橋を川上側に設置するが、自動車については主に十和温泉前を通るルートとなる。

一時的に十和温泉側から入る町道が唯一の道路となる。そのため、事前に住民への周知をし、看板を設置する。また、通学時間中などは大型車両は通らないような配慮や、通行車両の安全運転の徹底等の対策を県と連携して、情報発信と安全対策にしっかりと努めていく。

山本 川下側から通学する子供たちは歩行者用の橋を通り通学することとなるのか。また、十和温泉前を通るルートは道幅

と

と



十川橋



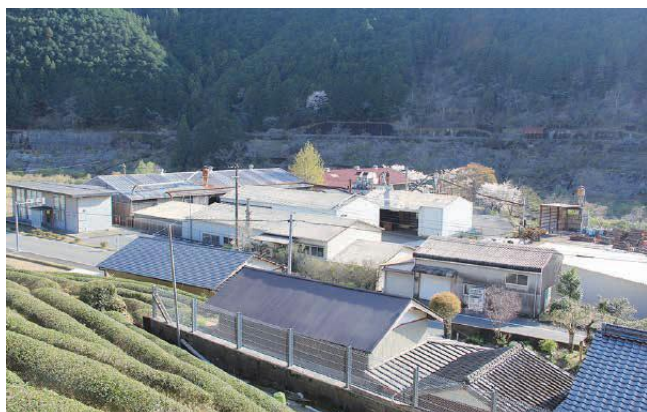
村井 真菜 議員

設置・管理に関する条例制定は 今は考えていないが検討する／町長

村井 つくば市や高崎市などは、市独自で「再生

佐竹農林水産課長 2度の地元説明会、また、区長をはじめ地域の全員の方から事業内容について理解を得たとの報告を受けており、町としては合意形成があると判断をした。

村井 本バイオマス発電事業は、四万十川流域の環境に影響が懸念される。四万十町と設置業者との協定書について、住民との合意形成や懸念に対する解決案が決定する前になぜ取り交わしたのか。



バイオマス発電施設予定地

は今のところまだ考えていない。住民の生活、地域資源をしっかりと守っていく責任があり検討する。

町長 条例制定については今のところまだ考えていない。住民の生活、地域資源をしっかりと守っていく責任があり検討する。

村井 生活支援を一体的に行う

川上企画課長 今後のことを考えると、ドア・ツー・ドアの輸送手段のニーズが高まっていくと予想される。ニーズの把握に努めながら、現行制度の中でできる範囲のことを福祉部門と連携しながら検討する。

村井 独居の方を中心とした移動や通院に困るというケースへの支援と対策は。

移動困窮者対策

支援と対策は

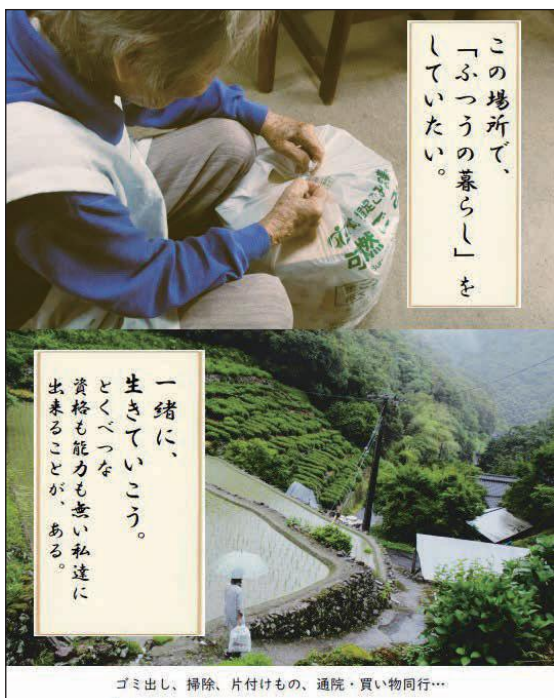
生活できる環境をつくりたい

／町長

有償ボランティアによる移動支援はニーズがある。十和地域で行っている助け合いサービス事業を今後、全町に拡げていく必要があるのでは。

年齢を含めて、生活できていく環境をしっかりとつくりたい。この町に住んで良かったと思えるまちづくりに取り組んでいく。

中尾町長 生活弱者、高



ゴミ出し、掃除、片付けもの、通院・買い物同行...

でゆう十和組

人口減少対策

人口の推移と出生数のペースは

人口減少はゆっくり、

出生数は70%減少／企画課長



下元 真之 議員

下元 本町人口の推移状況と今後の見通しについて、出生数のペースも併せて問う。

川上企画課長 平成18年合併時の人口が2万1215人で、令和7年1月末で1万4915人。約30%（△6300人）の減少で社人研の予測よりもゆっくりとなっている。出生数は、合併当時は

135人生まれていたが、令和5年は50人台、令和6年は43人となっている。社人研の出生数予測では2050年には30人くらいとの予測だが、もっと厳しい見通しだ。

下元 人口減少対策の内容と成果について、今後の工夫や課題も含めて問う。

川上企画課長 人口に特に影響を与えるのが移住者数と出生数だ。

移住施策は十分な成果（昨年の移住者数136組、188人）が見受けられるが、出生数は約70

%減少だ。

移住者が多い一方、進学や就職を機とした若年層の転出が課題だ。チャレンジできる環境整備として起業・創業推進への支援制度も設けている。婚活支援の成果は見えづらいが、県下全域で取り組むべき課題だ。



まちづくり

「縮む」現実への取り組みと方向性は 事前に想定し縮ます方向で進めるべき／町長

下元 人口減少・縮小時代のまちづくりで、「縮む」という現実に向けての取り組みと方向性を問う。

川上企画課長 本町の人口動態を見ても、今後も長期的に人口減少が続いていくことは確実だ。

経済規模の縮小や、労働力などの担い手不足など全てが縮んでいく。行政も財政や組織、施設や各種サービスなどが縮小せざるを得なくなる。

中尾町長 人口減少に伴い事前に想定しながら、公共施設は一定縮ます方向で進めるべきと思う。今後も人口減少対策の交付金の確保と、地域経済の購買力維持との視点をもって取り組む。

下元 公共施設管理計画

の数値目標に対する取り組み状況を問う。

池上総務課長 平成29年から令和8年までの10年間で、延べ床面積5万5000㎡（約18%）減少させる削減目標だが、実際の削減実績は700㎡余り（達成率は1%にも満たない）。

使っていない施設の場合は、住民要望や予算の関係から取り壊し意欲が薄れている現状だ。使っている施設は、行政サービスの最小限の形や縮小の適正規模を見いだせていないというところに本質的な問題があった。



佐竹 将典 議員

全国平均を大きく下回っているが改善されるか

学校が目指す授業づくりの支援を行う／学校教育課長

町内の英語における平均正答率は全国平均と比較して大変厳しい結果である。特に書くことの正

長森学校教育課長 中学校2学年までに、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことのそれぞれの内容で実施され、話すこと以外の3技能の結果がマイナス16.6ポイントと公表されている。

佐竹 令和5年に行われた全国学力・学習状況調査で、英語の結果は、全国平均を大きく下回っており、点数でいうとマイナス16.6ポイントとなったがこの状態をどのように改善していくのか。



ALTによる小学校での授業

答率が低い結果となっていた。県教育委員会と連携し、英語4技能をバランスよく習得するために必要な支援や、ICTを活用した授業と家庭学習を切れ目なくつなぐ環境整備など、英語によるコミュニケーション能力向上を図れる体制を整備し、学校が目指す授業づくりができる支援を行っていく。

長森学校教育課長 実施業者と調整をしたところ、この検定はこの時期でないとできないという返答であった。今回は11月から12月に実施し、2月中に小学校に返送され、個別に4技能の分析結果表は子どもたちに渡されたが、課題の対策はできなかった。この結果を来年度の早いうちに研修をす

佐竹 小学校6年生に対して行われている英語4技能検定の結果返信時期が2月中であり、6年生は3月の半ばには卒業するが、教員がこの結果を見て授業を改善できるのか。

4技能検定

この結果を見て改善できるのか
もう少し長いスパンで見えてほしい

／学校教育課長

する必要はある。この事業の費用対効果はまだ学力テストとは結びついていないが、もう少し長いスパンで見えてほしい。



観光交流拠点施設

どう活かしていくか

地域経済の二翼を担ってくれるものと

期待している／にぎわい創出課長



水間 淳一 議員

導も図っていきたい。

水間 経済効果をどのよ

うに見込んでいるか。

小笹にぎわい創出課長

直接的な効果は算定でき

ていないが、経済波及効

果は少なくとも年間86

00万円程度と考えてい

る。施設は地域経済の一

翼を担ってくれるものと

期待している。

水間 整備費総額4億3
300万円余り、年間維
持費700万円を見込み
観光交流拠点施設を整備
しようとしているが、観
光・地域活性化にどう活
かすか。

小笹にぎわい創出課長

観光案内版の設置や道の
駅同士との連携イベント
等により、四万十川観光
や大正・十和方面への誘



観光交流拠点施設の予定地

地方創生

人口減少をどう捉えているか

しっかりと人口減少対策を進めていく／町長

水間 地方

創生は人口

減少の克服

と、地域の

活性化に集

約されると

思う。

人口減少

は担い手の

減少や経済

規模の縮小

等、本町に

も大きな課題が生じてい

る。本町の人口減少をど

のように捉えているか。

川上企画課長 本町は人

口に占める高齢者の割合

も高く、一方で出生数は

減少の一途をたどってお

り、人口減少はあらゆる

ことに繋がる課題と考え

ている。

水間 婚姻数についての

考えは。



川上企画課長 現行の計

画では4年後までに年間

40組を考えている。

まち・ひと・しごと創

生総合戦略の中で目標と

している。

中尾町長 人口減少は地

域経済や子育てにも影響

が出てくる。人が集うこ

とが大事なことであり、

交流人口の拡大や移住・

定住も含めてしっかりと

人口減少対策を進めてい

きたい。



橋本 章央 議員

生徒数の確保は 地域みらい留学制度も活用しながら 取り組む／企画課長

橋本 生徒数の推移と今後の見通しは。

川上企画課長

令和15年度までの町内の中学3年生の生徒数は、窪川中学校で60人。大正・十和中学校を合わせて20人30人で推移すると見込まれている。

今後とも大幅な生徒数の増加が見込めない厳しい状況にあると考えている。現在、地元中学校からの進学割合は窪川で約30%、大正・十和で約40%であることから、この割合の向上を図っていく。また、四万十高校については、地域みらい留学制度による県外からの生徒募集を行い、地元高校の存続に取り組んでいく。



四万十高校

橋本 小規模校では大学受験が困難な状況にあると危惧するが心配はないか。

川上企画課長 窪川高校・四万十高校ともに、国公立大学や有名私立大学への進学者を輩出しており、地元高校からの大学進学が難しいとは考えていない。

商工業振興

中小・小規模事業者の現状は 経済規模が縮小している

／にぎわい創出課長

橋本 町内商工業が直面している課題をどう捉えているか。

小笹にぎわい創出課長

本町に970の事業所があり、昨今の物価高騰や賃金上昇と少子化による人員不足、高齢化などによる廃業に対応するための事業承継の問題等、構造的要因が課題であると考えている。

今後においては周辺人口の減少も想定され、経済規模の縮小が大きな課題となってくる。

橋本 地域内での買い物促進や、地元商工業の利便を奨励するための施策

は。

小笹にぎわい創出課長

これまで商品券の配布やプレミアム商品券等が主

な施策となっているが、これに使える財源がなく国の交付金等の配分機会があれば検討していく。



災害対策

南海トラフ地震対策は

油断することなく取り組んでいく

／町長



中野 正延 議員

福祉避難所はオイコニアに開設していた。
1週間ほど3名の方が避難していた。

の教訓を活かした事前復興計画の対策は。

中尾町長 令和7年度以降については、役場全体での推進体制を整え、事前復興の重要性について油断することなく取り組んでいく。

中野 臨時情報が発令されれば事前避難ができるが、判断ができるように住民の理解を広めていく対策は。

中野 過去の震災

中野 昨年8月8日に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が初めて発表されたが、受け入れ体制と事前避難者数の状況を問う。

味元危機管理課長

まだまだ住民への周知は十分でなく、今後も啓発に取り組んでいく。特に要配慮者の方には防災学習を重ね周知していく。

味元危機管理課長 避難

については、自主避難となり、農村環境改善センター、興津防災活動拠点施設、志和コミュニティセンター、大正・十和地域振興局に避難所を開設、



福祉避難所

子育て支援

学校環境の整備について

伸び伸びと育っていく環境を整備したい

／町長

中野 猛暑での体育授業の中止や、冬場の体育館の使用は子どもの基礎体力の低下や体調不良の原因にもなる。また、学校は災害時に避難所として使用され体育館は居住スペースとなる。避難所環境も含めた体育館への空調設備を設置できないか。

の育成に関して支援できないか。



地域で活動する小学生ソフトボールチーム

長森学校教育課長 これ

長森学校教育課長 新たな指導者の育成を目的とした講座等の開設や、町内の事業所等に理解を得ながら、事業所の職員が指導に携わりやすくなるような業務や勤務体制の検討などを依頼する。

中野 現在、クラブ活動やスポーツクラブで指導者が少なくなり存続が難しくなっている。指導者

中尾町長 スポーツも学習もしつかりやっていける伸び伸びと育っていける環境整備をしたい。

中野 現在、クラブ活動やスポーツクラブで指導者が少なくなり存続が難しくなっている。指導者

環境整備をしたい。



伴ノ内 珠喜 議員

完全給食が望ましいのではないか 保護者の意見を踏まえ 研究していきたい／生涯学習課長

伴ノ内 保育所
へのご飯の持ち
込み状況につい
て問う。

今西生涯学習課
長 全国的には

4割程度の自治
体がご飯の持ち
込みをしている
が、自治体によ
っては状況が異
なる。本町では0～2歳
児クラスは副食・主食と
も各施設での調理、3～
5歳児クラスは副食のみ
各施設で調理し、主食に
ついては各家庭からご飯
の持ち込みをお願いして
いる。

伴ノ内 保育所での炊飯
は可能か。

今西生涯学習課長 各施
設における完全給食につ
いて現状も行事食の際に



は実施できることから実
現の可能性はあるが、備
品の追加整備や施設改修
など課題があり、最終的
には政策的判断になる。

伴ノ内 衛生的にも園内
での対応を考えてほしい。

今西生涯学習課長 教育
委員会としても完全給食

が望ましいところは共通
の認識だが、今後の全体
の中で保護者の意見を踏
まえ研究していきたい。

空き家対策

現状と課題は

空き家対策補助金の活用や空き家

バンクへの登録など個人管理が適切

／建設課長

伴ノ内 町内の空き家の
現況は。

下元建設課長 令和4年

度空き家実態調査の結果、
町内で1315件。これ
をA～Eまでランク分け
し、このうち老朽度が特
に進行し倒壊の恐れのある
Eランクの空き家が79
件となっている。

伴ノ内 空き家対策の補
助金の活用状況は。

下元建設課長 平成27年

度から令和6年度末まで
に211件の除去を実施、
平成29年度から令和6年

度末までに54件のリフォ
ームを実施、令和6年度
には「老朽建築物除却事
業」を新設し
19件の除去を
実施した。

伴ノ内 今後
の空き家対策
について問う。

下元建設課長

空き家を放置
することなく
適切な管理を
し、空き家バ
ンクへの登録
や除去への移
行など、所有



空き家

意思表明

○賛否の分かれた議案なし

○全会一致の議案

【3月定例】 議 案	結 果
議案第16号 木製机・椅子の売買契約の締結について	可決
議案第17号 令和6年度四万十町一般会計補正予算(第7号)	可決
議案第18号 令和6年度四万十町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	可決
議案第19号 令和6年度四万十町国民健康保険大正診療所特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第20号 令和6年度四万十町国民健康保険十和診療所特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第21号 令和6年度四万十町大道へき地診療所特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第22号 令和6年度四万十町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第23号 令和6年度四万十町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第24号 令和6年度四万十町特別養護老人ホーム窪川荘特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第25号 令和6年度四万十町特別養護老人ホーム四万十荘特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第26号 令和6年度四万十町水道事業会計補正予算(第4号)	可決
議案第27号 令和6年度四万十町下水道事業会計補正予算(第4号)	可決
議案第28号 第3期四万十町子ども・子育て支援事業計画の策定について	可決
議案第29号 四万十町農業支援住宅条例について	可決
議案第30号 四万十町教職員住宅条例の一部を改正する条例について	可決
議案第31号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	可決
議案第32号 四万十町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第33号 四万十町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第34号 四万十町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第35号 四万十町町民会館条例の一部を改正する条例について	可決
議案第36号 四万十町集会所等条例の一部を改正する条例について	可決
議案第37号 四万十町興津青少年旅行村条例の一部を改正する条例について	可決
議案第38号 四万十町ホビー館条例の一部を改正する条例について	可決
議案第39号 四万十町水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例	可決
議案第40号 四万十町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案第41号 四万十町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案第42号 四万十町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第43号 四万十町家地川地域活性化拠点施設条例の一部を改正する条例について	可決
議案第44号 四万十町作屋就業改善センター条例を廃止する条例について	可決
議案第45号 四万十町家地川地域活性化拠点施設に係る指定管理者の指定について	可決
議案第46号 四万十町ホビー館に係る指定管理者の指定について	可決
議案第47号 四万十町打井川地域づくりセンターに係る指定管理者の指定について	可決
議案第48号 令和7年度四万十町一般会計予算	可決
議案第49号 令和7年度四万十町国民健康保険事業特別会計予算	可決
議案第50号 令和7年度四万十町国民健康保険大正診療所特別会計予算	可決
議案第51号 令和7年度四万十町国民健康保険十和診療所特別会計予算	可決
議案第52号 令和7年度四万十町大道へき地診療所特別会計予算	可決
議案第53号 令和7年度四万十町後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
議案第54号 令和7年度四万十町介護保険事業特別会計予算	可決
議案第55号 令和7年度四万十町特別養護老人ホーム窪川荘特別会計予算	可決
議案第56号 令和7年度四万十町特別養護老人ホーム四万十荘特別会計予算	可決
議案第57号 令和7年度四万十町水道事業会計予算	可決
議案第58号 令和7年度四万十町下水道事業会計予算	可決



令和6年12月から～令和7年3月定例会まで 各議員の出席状況

○：出席 □：公務 欠：欠席 代表：議会を代表して出席 /：参加要請なし

月 日	用務の概要	緒方 正綱	下元 真之	武田 秀義	山本 大輔	林 健三	村井 眞業	佐竹 将典	中野 正延	田邊 哲夫	伴ノ 内珠喜	中屋 淳一	水間 和義	橋本 章央	堀本 伸一
12月16日	墨田区議会議員との意見交換会	欠	○	○	○	○	欠	欠	○	欠	○	○	○	○	欠
12月26日	広報・広聴常任委員会（議会だより編集）	/	○	○	○	/	○	/	○	/	○	○	/	/	/
1月2日	令和7年四万十町二十歳の集い	○	○	○	欠	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○
1月5日	令和7年度四万十消防出初式	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	欠	○	/
1月14日	広報・広聴常任委員会（議会だより編集）	/	○	○	○	/	欠	欠	欠	欠	○	/	○	/	/
1月15日	議会運営委員会	/	○	○	/	○	/	○	/	欠	/	○	○	○	/
1月15日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
1月16日	教育民生常任委員会	○	○	/	/	○	/	/	/	/	○	/	○	/	/
1月17日	広報・広聴常任委員会（議会だより編集）	/	○	○	欠	/	○	/	○	/	○	/	○	/	/
1月18日 ～19日	山鹿市合併20周年記念式典	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	○	○	/
1月23日	産業建設常任委員会	/	/	/	/	/	○	○	○	/	/	/	/	○	/
1月25日 ～26日	高梁市発足二十周年記念式典	/	/	/	/	○	/	/	/	/	/	/	○	/	/
1月27日	議会運営委員会	/	○	○	/	○	/	○	/	欠	/	○	○	○	/
1月27日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
1月29日	令和7年第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
1月29日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
2月17日	議会運営委員会	○	○	○	○	/	○	/	/	/	○	○	/	○	○
2月17日	広報・広聴常任委員会	/	○	○	○	/	○	欠	○	/	○	/	/	/	/
2月17日	教育民生常任委員会	/	○	/	/	○	/	/	○	欠	/	○	/	○	○
2月17日	産業建設常任委員会	○	/	○	○	○	/	/	/	/	○	/	○	○	/
2月17日	総務常任委員会	○	/	/	/	/	○	欠	欠	欠	/	○	○	○	○
2月26日	産業建設常任委員会	○	/	欠	○	○	/	/	/	/	○	/	○	/	/
2月28日	令和7年2月高幡消防組合議会大164回定例会	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
3月3日	議会運営委員会	○	○	○	○	/	○	/	/	/	○	○	/	○	○
3月5日	令和7年第1回定例会（開会）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
3月5日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
3月6日	総務常任委員会	○	/	/	/	/	○	○	/	○	/	○	○	○	○
3月6日	産業建設常任委員会	○	/	○	○	○	/	/	/	/	○	/	○	/	/
3月7日	全員協議会（当初予算事前審査会）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
3月10日	教育民生常任委員会	/	○	/	/	○	/	/	○	欠	/	○	/	○	○
3月11日	令和7年第1回定例会（第7日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
3月12日	令和7年第1回定例会（第8日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
3月13日	令和7年第1回定例会（第9日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○

*紙面の都合上、議長のみの出席用務（4件）は省略しています。

契約

令和6年度木製可動式
机・椅子の整備に係る売
買契約について

契約件名

令和6年度木製可動式
机・椅子の整備に係る
売買契約

納入場所

四万十町立小中学校地
内

契約金額

706万9095円

契約の相手方

高知市小倉町2番8号
高知県木製品工業連合
協同組合
代表理事 江西 由紀

購入物品

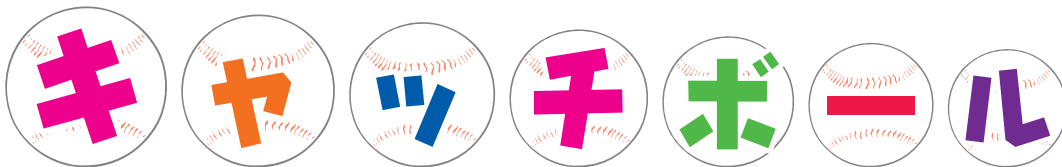
木製式可動机・学童椅
子105組 学童椅子
11脚



条例

左記、一覧表のとおり。

名称	施行期日
四万十町農業支援住宅条例について	令和7年4月1日
四万十町教職員住宅条例の一部を改正する条例について	公布の日
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	令和7年6月1日
四万十町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	令和7年4月1日
四万十町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	令和7年4月1日
四万十町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	令和7年4月1日
四万十町町民会館条例の一部を改正する条例について	令和7年4月1日
四万十町集会所等条例の一部を改正する条例について	令和7年4月1日
四万十町興津青少年旅行村条例の一部を改正する条例について	令和7年4月1日
四万十町ホビー館条例の一部を改正する条例について	令和7年4月1日
四万十町水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例について	令和7年4月1日
四万十町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	令和7年4月1日
四万十町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	令和7年4月1日
四万十町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	令和7年4月1日
四万十町家地川地域活性化拠点施設条例の一部を改正する条例について	令和7年4月1日
四万十町作屋就業改善センター条例を廃止する条例について	令和7年4月1日



このコーナーは町民の皆様からの議会に対する意見や、行政に提言をしてもらいたいこと、また旬の話題などを取り上げて、議会と町民の皆様とのキャッチボールを行うものです。

「観光交流拠点施設整備事業について」

Q 道の駅めぐり窪川に観光交流拠点施設というのができるらしいけど、何のために作るが。

A 高速道路の延伸工事が完成した際には四万十町に降りなくても高知市から四万十市方面に行けるようになります。そうすると観光や地域のお店の売上が減少するので、高速道路から四万十町で降りてもらうための魅力ある施設として整備します。

Q どんなもんができるが。

A 駐車場、イベント広場、芝生広場、

アクティブ広場、あそびの丘、展望の丘の6つのエリアで構成される都市公園ができます。車の運転の休憩やスポーツ、野外での遊び、イベントなど町内外の方に幅広く活用していただける施設にします。

Q いつ頃できるがよ。

A 令和7年度に敷地造成と実施設計を行い、令和8年度に施設工事を実施して令和9年度から使えるようにしたいと考えています。

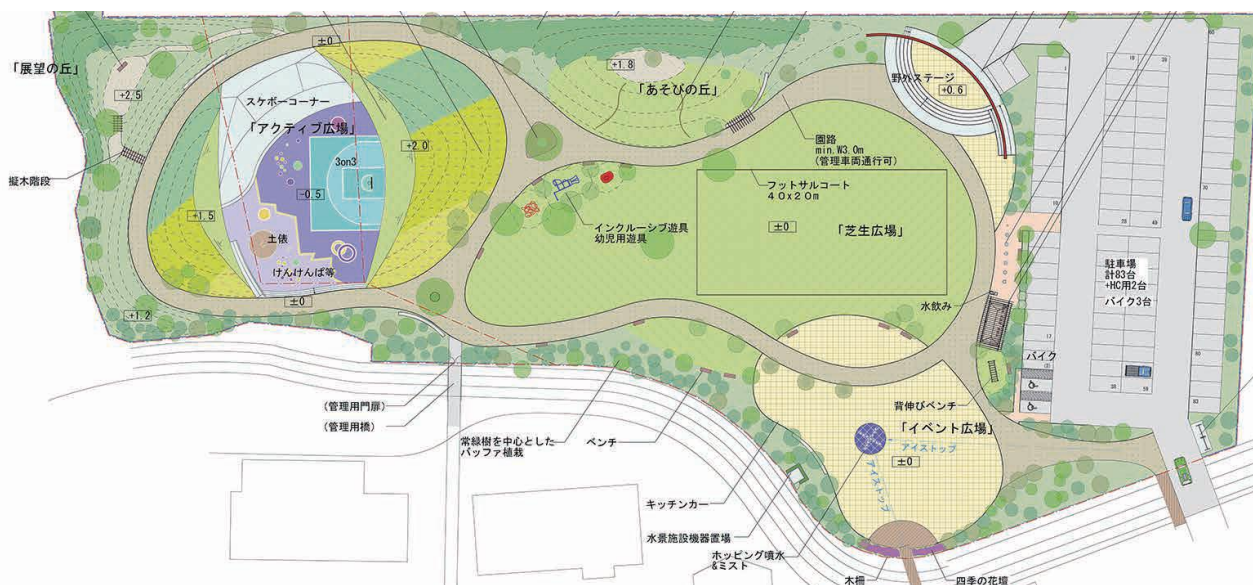
Q 効果はあるかよ。

A 年間で町内2万1000人、町外5万人の利用を見込んでおり、飲食や土産物の購入

など年間8600万円の経済波及効果があると見込んでいます。

Q 災害発生時は活動拠点になるらしいけど、その施設はどうなるが。

A 「防災道の駅めぐり窪川」の機能の補完として町外から来られた方が、防災時に帰宅困難になった際に使える設備（マンホールトイレや災害用井戸など）を備えます。その後、自衛隊の駐留拠点など町内の災害復旧に向けた多様な用途に使えるよう検討しています。



観光交流拠点施設の基本計画図



「四万十川方式」は 今後どうするが？

Q 四万十町に13力所
ある設備の現在の
維持管理費はどればあか
りゆうが。

A 四万十川方式にか
かる維持管理費は、
施設点検等に係る委託料
をはじめ、電気代、修繕
料など1390万円とな
っています。

Q 26年前からゆうた
ら、一般家庭の浄
化槽の普及も進んできた
と思うけどまだ要るが。

A 令和5年度末の浄
化槽普及率は62%
31%となっており、合併

浄化槽を設置していない
家庭の生活排水浄化に役
立っていると考えていま
す。

Q 令和2年2月発行
の議会だより「あ
りやどぅなっちゅぜよ」
で取り上げた時、「検証結
果を見て今後検討する」
と言いつたけどどう
なったぜよ。

A 3年間実施した水
質検査において水
質改善につながっている
という結果を踏まえ、13
施設すべてを継続稼働し
ていますが、人口減少等
も考慮し、継続的に検討
していきます。

※四万十川方式とは
木炭や石などの自然素材
を組み合わせ、微生物の
力で浄化する水処理シス
テム。

琴平川の四万十川方式

表紙の紹介

四万十川

桜マラソン大会

令和7年3月23日四万
十川桜マラソン大会開催。
桜の開花は遅れましたが、
晴天の下、参加ランナー
964人が四万十川沿い
を沿道の声援を浴びなが
らゴールを目指し駆け抜
け、色とりどりの笑顔の
花を咲かせていました。



編集後記

2年ごとの委員会編成
により、新しく佐竹委員
を加え、議会だよりのデ
ジタル化など住民の皆様
からの声も聞きながら、
読んでもらえる議会だよ
りづくりに取り組んでい
きたいと思います。今後
とも、皆様からご意見・
ご要望を賜われば幸いで
す。

(武田 秀義 記)

【広報広聴委員会】

委員長 武田 秀義
副委員長 中野 正延
委員 山本 大輔
村井 眞菜
佐竹 将典
伴ノ内珠喜
中屋 康
下元 真之